

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する

道府県・政令市名【 京都 】

学校名【 綾部市立 綾部中学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	本校 第1学年生徒 男子102名、女子79名 計181名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（オリンピック・パラリンピック教育講演会） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（オリンピック・パラリンピック教育講演会） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	(1) リオパラリンピックの経験から講演していただくことで、国際的な場で活躍することの意義や素晴らしさを学び、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて展望を持たせることに繋げる。
5 取組内容	(1) 事前学習 資料を使って事前にオリンピック・パラリンピックについて学習した。 (2) オリンピック・パラリンピック教育講演会 リオパラリンピック4×100R銅メダルを獲得された多川知希選手を招いて、「諦めないこと、続けること、何事にも全力で取り組むこと」と題して、講演を1時間と、昼食時は生徒代表と交流を行った。



<p>6主な成果</p>	<p>講演や体験を通して、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて展望を持ち、スポーツの多面的・多角的な楽しみ方を学ぶことができた。</p> <p>また、3大会連続で、パラリンピックに出場され、北京パラリンピックで挫折を味わわれるも、諦めないこと、やり続けること、全力で取り組むことを大切に、走り続けて来られたことを力強く方っていただき、生徒からは「話を聞いてパラリンピック選手が言っていることだから間違いないと思い、練習がきつくても乗り越えた時の自分を想像し、諦めずに続けようと思った。」「結果が出ないときは、まだできると思い、全力を出したいです。」と夢を持つことができた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>事前学習を大切にして、話を聞くだけでなく、自分が聞いてみたいことを考えさせて望みました。昼食では生徒代表が共に食事を取りながら交流を深めた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>全校生徒での実施が望ましいが、日程・時間・場所・人数の都合により実現できなかったことが課題として挙げられる。</p> <p>また、陸上選手を呼ぶことが多いので、他種目の選手やコーチを招聘し、選手だからこそ話せることや、デモンストレーションなどあれば、より学びの多い教育講演会になったと感じる。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>現段階では未定である。実施する場合は、どの種目で講演・体験をするのか、誰を講師として選定し依頼するのか、その依頼手段や実施時期・場所などをどうするのか、など決めるべきことが多くある。</p> <p>実施することにより得られる成果が多くあるので、前向きに検討したい。</p>